



# シャクナゲ日記

HPもご覧ください→



文責 校長 西山 友一郎

## 八代市立泉第八小学校保護者の皆様、地域の皆様へ

令和8年度も、学校通信「シャクナゲ日記」にて、学校の様子をお伝えします。不定期の発行となりますが、どうぞよろしくお願ひします。また、本通信は、本校のホームページにも掲載しますことをお知らせします。

## 地域に誇りをもち、自ら学ぶ子供の育成

「地域にへき地あれど教育にへき地なし」の基本理念のもと、令和8年度学校教育目標を「郷土に誇りをもち、自ら学ぶ子供の育成」としました。

4月8日（水）の始業式の中で、まず、学校教育目標について話をしました。これからの子供たちが生きていく時代は、AIの発達によりとても速いスピードで変化していき、地震や大雨、台風などこれまでに経験をしたことがない災害に見舞われたりするなど、予測が難しい時代になっていきます。そのような時代を生き抜くためには、自ら課題を見つけ、自ら考え、行動できること、つまり、「自ら学ぶ子供」の育成が必要だと考えています。日常的な授業においても、これらの資質・能力の育成を常に念頭に置きながら、授業をつくり、展開していきます。

また、本校には、育栄会というとても心強い地域の応援団が、本校の教育活動を陰になり日向になり支えていただいております。保護者に皆様をはじめとして、育栄会のお力と、学校運営協議会や地域学校協働活動を一体的に推進していきながら、特色ある教育活動を展開していきたいと考えています。

今年度も、保護者の方々や地域の方々と一緒に、郷土に学び、郷土に対する誇りを育みながら、これからの時代を生き抜いていくために本稿が育成を目指す資質能力である「言語能力、読解力、情報活用能力、問いを立てる力、批判的思考力、共感・協働できる力」を育成していきます。どうぞご理解とご協力、ご支援をよろしくお願ひいたします。

## 令和8年度はじめての授業参観を行いました！！

4月23日（木）に、令和8年度最初の授業参観を行いました。今年、熊本地震から10年の節目の年にあたります。熊本地震で、本県は甚大な被害がありました。しかし、そのような中、児童生徒が周りの人々を思い、行動する姿が見られました。今回の授業参観では、「熊本地震で見られた姿や経験を風化させることなく語り継ぐこと。」「助けあい 励ましあい 志高く」の熊本の心の具現化となる「みんなのために、自分にできることは何か。」を自ら考え、主体的に行動する子供たちの育成を図ること。」「熊本地震で見られた姿を通して、豊かな心（道徳性）を育てること。」これらのことを目的として作成された教材「つなぐ～熊本の明日へ～」を使用して授業を行いました。登場人物の行動や気持ちを考えながら、自分でできること、これからどのような生き方をしていくか、深く考える時間になりました。

